

令和 2 年第 2 回定例会（12 月議会）
産業観光委員会・分科会 提出資料

令和2年12月2日
観光文化スポーツ部

【補正予算関連】

交 通 政 策 課 国内定期航空路線緊急支援事業について ----- 1

【議案（その他）関連】

観光文化スポーツ部	公の施設の指定管理者の指定について -----	2
	(議案第210号～議案第218号、 議案第224号～議案第228号)	
文化振興課	あきた芸術劇場整備に係る工事請負変更契約の締結について --	6
	(議案第220号～議案第223号)	

国内定期航空路線緊急支援事業について【新規】

交通政策課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が大幅に減少している国内定期航空路線を運航する航空会社に対し、路線維持と利便性向上を図るための支援を行う。

2 概 要

(1) 国内定期航空路線着陸料等支援事業

84,919千円

秋田空港及び大館能代空港において、航空会社が支払う国内定期航空路線の着陸料及び停留料（以下「着陸料等」という。）の負担軽減を図るため、航空会社に対し助成する。

- ・対象事業者：全日本空輸株式会社、日本航空株式会社等
- ・対 象 経 費：対象事業者が支払う着陸料等
(秋田県空港管理条例等に基づく減免措置後の着陸料等)
- ・対 象 期 間：令和2年8月1日から令和3年2月28日まで
- ・算 定 方 法：対象経費×下表における路線ごとの補助率

空港	路線	補助率
秋田	東京羽田線	45%
	大阪伊丹線	45%
	札幌千歳線	45%
	名古屋中部線	100%
大館能代	東京羽田線	100%

- ・助成金額（見込み）：
全日本空輸株式会社 47,503千円
日本航空株式会社等 37,416千円

(2) 大館能代空港東京羽田線2往復化支援事業

20,000千円

大館能代空港における東京羽田線の3往復化の早期実現に向け、2往復運航に必要な経費の一部等を支援する。

- ・対象事業者：全日本空輸株式会社等
- ・運 航 期 間：令和3年2月中旬から3月中旬（予定）
- ・対 象 経 費：①運航経費の一部 15,000千円
②本運航に係る広告宣伝費 5,000千円

3 予算額

104,919千円

(負担金補助及び交付金)

公の施設の指定管理者の指定について

観光文化スポーツ部

1 申請団体及び候補者選定団体

[観光施設]

対 象 施 設	申請団体及び候補者選定団体
秋田県営大潟スポーツ宿泊センター	株式会社ルーラル大潟
秋田県営秋の宮山荘	株式会社秋田スパ・アンド・ドライ ブイン・サービス
秋田県営鳥海観光宿泊センター	株式会社フォレストア鳥海
秋田県営十和田観光宿泊センター	十和田ホテル株式会社
秋田県営男鹿オートキャンプ場	株式会社おが地域振興公社
秋田県営宮沢海岸オートキャンプ場	株式会社おが地域振興公社
秋田県ふるさと村（秋田県立近代美術館 を除く。）	株式会社秋田ふるさと村
秋田県田沢湖スキー場	田沢湖高原リフト株式会社

※秋田県営田沢湖オートキャンプ場については、応募者がいなかったため、再公募を実施し、1社の応募があった。今後、選定委員会を開催予定。

[文化施設]

対 象 施 設	申請団体及び候補者選定団体
秋田県総合生活文化会館	厚生ビル管理株式会社

[スポーツ施設]

対 象 施 設	申請団体及び候補者選定団体
秋田県立体育館	一般財団法人秋田県総合公社
秋田県立スケート場、秋田県立野球場、 秋田県立向浜運動広場、秋田県立総合 プール（向浜スポーツゾーン）	一般財団法人秋田県総合公社
秋田県立新屋運動広場	特定非営利活動法人スポーツクラブあきた
秋田県立総合射撃場	一般財団法人秋田県総合公社
秋田県立田沢湖スポーツセンター	田沢湖高原リフト株式会社

2 選定委員会の開催

[観光施設]

○令和2年10月27日、28日

観光文化スポーツ部指定管理者の候補者選定委員会 [観光施設]

○選定委員

氏 名	所 属	職 名 等	備 考
奈 良 聡	秋 田 県 観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部	次 長	委 員 長
成 田 光 明	秋 田 県 観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部	次 長	委 員
佐 藤 功 一	秋 田 県 観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部	観 光 戦 略 課 長	委 員
中 川 秀 幸	国 際 教 養 大 学 国 際 教 養 学 部	准 教 授	外 部 委 員
小 国 輝 也	一 般 社 団 法 人 秋 田 県 観 光 連 盟	常 務 理 事	外 部 委 員
湊 洋 一		税 理 士	外 部 委 員

成田委員は、秋田県営十和田観光宿泊センター、秋田県ふるさと村及び秋田県田沢湖スキー場の指定管理者の候補者選定を行った。

佐藤委員は、秋田県営大湯スポーツ宿泊センター、秋田県営秋の宮山荘、秋田県営鳥海観光宿泊センター、秋田県営男鹿オートキャンプ場及び秋田県営宮沢海岸オートキャンプ場の指定管理者の候補者選定を行った。

[文化施設]

○令和2年10月22日

観光文化スポーツ部指定管理者の候補者選定委員会 [文化施設]

○選定委員

氏 名	所 属	職 名 等	備 考
成 田 光 明	秋 田 県 観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部	次 長	委 員 長
石 井 正 人	秋 田 県 観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部	文 化 振 興 課 長	委 員
相 原 学	一 般 財 団 法 人 秋 田 経 済 研 究 所	専 務 理 事 ・ 所 長	外 部 委 員
藤 盛 節 子	医 療 法 人 藤 盛 レ デ ィ ー ス ク リ ニ ッ ク	事 務 長	外 部 委 員
長谷川 伸 治		税 理 士	外 部 委 員

[スポーツ施設]

○令和2年10月26日

観光文化スポーツ部指定管理者の候補者選定委員会 [スポーツ施設]

○選定委員

氏 名	所 属	職 名 等	備 考
成 田 光 明	秋 田 県 観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部	次 長	委 員 長
吉 井 和 人	秋 田 県 観 光 文 化 ス ポ ー ツ 部	ス ポ ー ツ 振 興 課 長	委 員
澤 田 智 志	秋 田 県 生 活 環 境 部	自 然 保 護 課 長	委 員
伊 藤 恵 造	秋 田 大 学 教 育 文 化 学 部	准 教 授	外 部 委 員
重 川 敬 三	秋 田 県 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会	理 事 長	外 部 委 員
長谷川 伸 治		税 理 士	外 部 委 員

吉井委員は、秋田県立体育館、向浜スポーツゾーン、秋田県立新屋運動広場及び秋田県立田沢湖スポーツセンターの指定管理者の候補者選定を行った。

澤田委員は、秋田県立総合射撃場の指定管理者の候補者選定を行った。

3 審査結果の概要

申請団体については、指定管理者の候補者としての適格性を有していると判断された。

【審査結果】

〔観光施設〕

	施設名	候補者選定団体	県民の平等 利用の確保	設置目的の 効果的達成 (満点30点)	効率的な 管理 (満点20点)	適正・確実 な管理能力 (満点30点)	その他必要 な事項 (満点20点)	合 計 (満点100点)	選定委員会での主な意見
1	秋田県営大潟スポーツ宿泊センター	株式会社ルーラル大潟	○	22.6	15.2	23.4	16.4	77.6	○大潟村と連携し、施設の利用促進に向けた様々な取組を実施しており評価できる。 ○「スポーツ宿泊センター」として設立された経緯を踏まえると、スポーツ合宿等の誘致にもっと力を入れるべきと考える。指定管理者として、主体的に営業を行ってほしい。 ○大潟村が所有する施設の多くを管理受託しており、地域経済に一定の役割を果たしていると評価するが、更に周辺地域との連携を図り、より広域的な地域の活性化に寄与してほしい。
2	秋田県営秋の宮山荘	株式会社秋田スパ・アンド・ドライブイン・サービス	○	23.8	14.4	24.2	15.2	77.6	○指定管理者として複数の施設を運営している実績があり、そうしたノウハウを生かした管理運営が期待できる。 ○顧客目線のサービス提供を重視している企業と認められ、適切な施設運営が可能と考えられる。 ○隣県からの誘客が期待され、地域の中核的な観光拠点と位置づけられるため、周辺施設等とも十分に連携を進めてほしい。
3	秋田県営鳥海観光宿泊センター	株式会社フォレスト鳥海	○	19.7	10.0	18.8	14.4	62.9	○財務基盤が脆弱であり、資金繰りが懸念される状況にあるが、由利本荘市からの助成やセーフティネット融資などにより、当面の経営は維持される見込みである。今後、会社の経営面の抜本的な見直しが必要である。 ○利用促進の取組については、首都圏や海外からの誘客よりも、まずは県内や隣県からの誘客に力を入れるべきである。 ○由利本荘市内の他の観光施設等との連携を深め、地域活性化に貢献してほしい。
4	秋田県営十和田観光宿泊センター	十和田ホテル株式会社	○	19.7	15.2	23.3	15.2	73.4	○インターネット予約サイトでの顧客満足度の評価が高いなど、施設運営について評価できる。 ○一定の利益を計上していく計画だが、売上が下振れしたときには経営状況が厳しくなることから、より一層経費削減を図っていくべきと考える。
5	秋田県営男鹿オートキャンプ場	株式会社おが地域振興公社	○	23.3	14.4	22.5	16.0	76.2	○新たな取組としてグランピングを行っており、収益増に向けた意欲が感じられる。 ○なまはげ館等の周辺施設と連携して営業を行うことにより、一層の誘客促進につながると考えられることから、更に営業を強化すべきである。 ○労働力が不足している中で、職員を融通しローコストオペレーションを実施している点は評価できる。
6	秋田県営宮沢海岸オートキャンプ場	株式会社おが地域振興公社	○	21.4	13.6	21.9	15.6	72.5	○ウェブサイト等を上手く活用できず施設PRが不足していることから、男鹿オートキャンプ場と併せて、おが地域振興公社のウェブサイトです約を受け付けるなど、オンライン予約に対応するべきである。 ○海水浴、温泉、夕日、星空などロケーションを生かした運営が行われており、全体的には評価できる。
7	秋田県ふるさと村（秋田県立近代美術館を除く。）	株式会社秋田ふるさと村	○	23.8	15.2	24.8	16.4	80.2	○財務基盤は安定しており、経営体制は健全である。 ○令和7年度には70万人まで利用者が伸びる計画を立てているものの、現状では実現が難しいと予測されることから、個人の小グループの利用促進を図るなど、団体利用に片寄ることなく、50万人の利用で利益が出るような運営形態も考えるべきである。 ○今後、施設の魅力向上につながる改修等も行われることから、それらを生かして来年度以降の誘客につなげてほしい。
8	秋田県田沢湖スキー場	田沢湖高原リフト株式会社	○	24.5	14.0	22.8	17.6	78.9	○グリーンシーズンの利用等、新たな事業の拡大に取り組んでいる点については、評価できる。 ○将来的な利用者の確保に向け、子どもや若者がウィンタースポーツに親しむ機会を多く創出するべきであり、そのための割引等の取組は評価できる。 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会社の財務状況は厳しいものの、スキー場の経営には支障がないものとする。

[文化施設]

	施設名	候補者選定団体	県民の平等 利用の確保	設置目的の 効果的達成 (満点20点)	効率的な 管理 (満点20点)	適正・確実 な管理能力 (満点20点)	その他必要 な事項 (満点40点)	合 計 (満点100点)	選定委員会での主な意見
1	秋田県総合生活文化会館	厚生ビル管理株式会社	○	15.7	14.0	16.9	32.5	79.1	○これまでの指定管理を通じて、総合生活文化会館の存在意義を十分に理解しており、質の高い公演を県民に提供する役割を十分に果たしている。 ○パイプオルガン奏者養成講座やアトリオン少年少女合唱団の活動などの独創的な人材育成に成果が出てきており、引き続き活動に期待したい。 ○本体の財務諸表が非常にしっかりしているものの、今後の不測のことを考え、自主財源を増やす更なる工夫が求められる。 ○今後開館する「あきた芸術劇場」と連携して相乗効果を発揮し、県民により質の高い音楽・芸術を提供していただきたい。

[スポーツ施設]

	施設名	候補者選定団体	県民の平等 利用の確保	設置目的の 効果的達成 (満点20点)	効率的な 管理 (満点30点)	適正・確実 な管理能力 (満点30点)	その他必要 な事項 (満点20点)	合 計 (満点100点)	選定委員会での主な意見
1	秋田県立体育館	一般財団法人秋田県総合公社	○	16.8	24.0	24.6	17.6	83.0	○利用者アンケートを基に様々な自主事業を実施している面は評価できる。今後は、未利用者の需要の掘り起こしについても力を入れていただきたい。 ○コロナ禍でも自主事業を実施し、利用者から好評を得ているのは評価できる。県の施策では成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上を目標にしているため、幅広い層への運動機会の提供等に努めていただきたい。
2	向浜スポーツゾーン（秋田県立スケート場、秋田県立野球場、秋田県立向浜運動広場、秋田県立総合プール）	一般財団法人秋田県総合公社	○	15.5	24.4	24.6	16.0	80.5	○スケート場や野球場など異なる性質の施設があり、スケールメリットを生かして、季節ごとに人的配置を工夫しながら運営していることは評価できる。 ○向浜スポーツゾーンの4つの施設のほか、当該団体で管理している他の施設も含めて、スケールメリットを生かして今後も取り組んでいただきたい。また、管理コストの縮減やPR方法のほか、新規利用者の拡大に向けても尽力していただきたい。
3	秋田県立新屋運動広場	特定非営利活動法人スポーツクラブあきた	○	16.0	24.4	24.0	16.8	81.2	○特定非営利活動法人が指定管理者として施設を管理する取組のモデルとして評価できる。 ○総合型スポーツクラブの運営は難しい面もあるが、小中学校のスポ少、部活動などの運動機会が減少する中、自主事業としてジュニア育成に取り組むなどの頑張りは評価できる。また、芝管理の実績や今後の取組による改善にも期待できる。 ○特定非営利活動法人は財政基盤が脆弱な団体が多い中、当該団体は発足から20年弱にわたって活動しているほか、利益も出しており、管理を行う上で、組織体制に問題はないものと考えられる。
4	秋田県立総合射撃場	一般財団法人秋田県総合公社	○	15.0	24.0	24.3	14.0	77.3	○自主事業の開催について、ビームライフルの体験実施など努力しているものの、まだ認知度が低いことが残念である。子供でも利用が可能であり、体験するとおもしろさが分かるものでもあるため、今後の一層の努力に期待したい。 ○狩猟技術訓練施設とライフル射撃場の設置目的は違うものの、事業として関連性を持たせることができれば、一層の効果が期待できるのではないか。設置場所が秋田市等から離れているなど集客に不利な面もあると思うが、管理にあたって高度の専門性が求められる施設でもあり、引き続き適正な施設運営に取り組んでいただきたい。 ○狩猟技術訓練施設の管理については、地元住民への配慮が必要である。施設の利活用について積極的なPRを実施し、広く県民から愛される施設となるよう期待している。
5	秋田県立田沢湖スポーツセンター	田沢湖高原リフト株式会社	○	14.9	23.2	23.7	15.6	77.4	○新型コロナウイルス感染症による影響を受けやすい施設であり、今期の経営も厳しいとは思いますが、田沢湖はスポーツのみならず観光においても重要な地域であり、意欲的に頑張ってください。 ○屋内体育施設と宿泊機能を有する施設であり、コロナウイルス対応には万全を期して取り組んでほしい。また、施設利用については、引き続き盛岡など近隣県にも働きかけてもらいたい。スポーツのみならず学習・研修など、多面的な利用ができるように配慮した運営に期待したい。 ○アウトドア需要の高まりなどをチャンスととらえ、積極的な運営により、利用拡大に努めていただきたい。

あきた芸術劇場整備に係る工事請負変更契約の締結について

文化振興課

1 変更の内容

(1) 契約金額

区 分	当初契約額 (令和元年5月)	変更契約額 (今回の議案契約額)	増加額
①建築	14,133,960,000円	15,101,740,000円	967,780,000円
②電気設備	3,056,374,080円	3,062,774,980円	6,400,900円
③空気調和設備	1,779,651,000円	1,783,600,000円	3,949,000円
④給排水衛生設備	722,842,920円	725,371,820円	2,528,900円
合 計	19,692,828,000円	20,673,486,800円	980,658,800円

〈総事業費の内訳〉

調 査 費	6 億円
県民会館解体費	6 億円
本体施設整備費	2 0 7 億円
設 計 ・ 監 理 等	1 3 億円
駐 車 場 用 地 費 等	2 2 億円
合 計	2 5 4 億円

(2) 工 期

区 分	当初契約	変更後
①建築	契約締結の日から令和3年 12月15日まで	契約締結の日から令和4年 3月10日まで
②電気設備		
③空気調和設備		
④給排水衛生設備		

2 変更の理由

(1) 契約金額の増額

- ①建築工事 967,780千円
- (i) 新型コロナウイルス感染症の影響による増額 (335,060千円)
- ・工期延長に伴う仮設工事費及び現場管理等諸経費の増額
 - ・感染予防対策に係る経費の増額

(ii) インフレスライド条項に基づく増額	(440, 770千円)
・ 労務費や資機材費の単価上昇による増額	
(iii) 施工条件変更に伴う増額	(191, 950千円)
・ 杭及び山留工事における地中障害物等への対応による増額	
・ 汚泥の処分場変更に伴う運搬費の増額	
・ 鉄骨製作工場の変更に伴う運搬費の増額	
②電気設備工事	<u>6, 401千円</u>
(i) 新型コロナウイルス感染症の影響による増額	
・ 工期延長に伴う現場管理等諸経費の増額	
③空気調和設備工事	<u>3, 949千円</u>
(i) 新型コロナウイルス感染症の影響による増額	
・ 工期延長に伴う現場管理等諸経費の増額	
④給排水衛生設備工事	<u>2, 529千円</u>
(i) 新型コロナウイルス感染症の影響による増額	
・ 工期延長に伴う現場管理等諸経費の増額	

(2) 工期の延長

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた県境を跨ぐ作業員の移動自粛等による施工・工程計画の見直しに加え、工程の見直しによる冬期間におけるコンクリート打設工事の増加に伴い、仮設工事及び養生の期間が必要になることなどから、工期を約3か月延長しようとするもの。